

秀康がつなぐ縁 広がる連携の輪

— 結城市 × 福井市 友好都市 市長対談 —



福井市長 西行 茂

昭和53年福井市役所入職。企業局長、総務部長、企業管理者などを歴任し、平成28年8月から令和5年9月まで副市長を務めた。令和5年12月に福井市長に就任。

結城市長 小林 栄

結城秀康は、徳川家康の次男で、豊臣秀吉の養子になった後、結城家の養子に入り第18代を継ぎました。結城家当主となった秀康は、関ヶ原の戦いの後、1601（慶長6）年に越前北庄（福井県福井市）に移りました。福井藩初代藩主として福井城を築くとともに城下町を建設し、現在の福井市の基礎を築きました。このような歴史的なつながりから、市民間でさまざまな交流が行われ、

2000（平成12）年には福井結城会が福井市で発足、2001（平成13）年には秀康の越前入部400周年を迎えました。こうした機運の高まりを受け、2002（平成14）年4月13日に友好都市盟約を締結し、2022（令和4）年には締結20周年を記念したセレモニーが福井市で開催されました。この度、新春特別企画として両市のさらなる連携や発展を目指し、市長対談を実施しました。

福井市について

西行市長

結城市の皆様、明けましておめでとうございます。

福井市は、結城秀康公を藩祖とする福井藩の城下町として発展し、人口約25万4000人の中核市で福井県の県庁所在地となります。

これまで空襲や大震災や水害などの困難を乗り越え、再建していることから「不死鳥のまち」として知られていることは市民の誇りでもあります。

令和6年3月の北陸新幹線の延伸を100年に一度の好機ととらえ、様々なイベントによる交流人口の拡大を図っています。全国で唯一フルマラソン大会が行われていなかった福井県ですが、3月に「ふくい桜マラソン」を初開催いたしました。

豊かな自然を生かした地酒や名物料理の越前おろしそばやソースカツ丼、季節によっては越前ガニが楽しめますので、ぜひ、友好都市・福井市にお越しください。

地域と連携した教育環境整備

小林市長

福井県は文科省が実施している全国学力テストで全国トップクラスの学力を維持されていますが、何か秘訣があるのですか。

西行市長

秘訣かどうかは分かりませんが、それぞれの先生が授業に工夫を凝らしていることもさることながら、三世同居率の高さが影響しているのかも知れません。両親が共働きであっても祖父母が家にいることで子どもたちの安心や精神的な安定が生まれ、成績向上につながっているものと感じます。また、地域全体で子どもを育てる風潮が根付いていることも要因の1つであろうと思います。

一方で学力向上だけでなく、子どもたちの判断力や意思決定力を養うためのキャリア教育を推進している



対談は令和6年11月24日に結城市役所にて実施しました。

ほか、外国文化に触れる機会を増やすため、保育園や幼稚園に市国際文化交流大使を派遣し外国人と触れ合う機会を設けたり、小学校からはネイティブスピーカーであるALTを配置した授業を行うなど英語教育にも力を入れています。

小林市長

全国的な傾向と同様に本市においても少子化が進んでおり、地域によっては1学年あたりの児童数が10～15人といった「小規模校化」が進んでいます。「学校適正配置等に関する提言」に基づき、5つの小学校を統合した小中一貫校の令和10年度開校に向け、現在準備を進めています。新設校については、福井市と同様に学力向上だけでなく、多様な価値観を学び、協調性を育むことができるような学校づくりをしたいと考えています。

今般、予定している地域は自然が豊富であるため、農地や里山といった立地環境を生かし、有機農業や酪農、里山やビオトープなど、食や環境問題にも関心を持てるような教育環境を整えていきたいと思っています。その際には地域の農家などにも講師的な立場で協力してもらいたいですね。

西行市長

農家との連携は素晴らしいですね。ところで、毎年、子ども親善大使として、お互いの市に小学生を派遣していますが、リーダー的な存在が自然に生まれるほか、まったく異なる

環境の子ども同士が触れ合うことでお互いを理解しようとする心が育まれるようで、派遣の前後で子どもたちが大きく成長したことが感じられます。今後ともぜひ、継続していきたい事業だと思います。

小林市長

「かわいい子には旅をさせろ」と申しますが、私も同感です。本市の子どもたちも福井市で貴重な体験をさせていただき、成長していることを実感しています。

今年度は本市の校長会が福井市を訪問いたしました。かつて、本市（茨城県）の小学校教員が福井市（福井県）の小学校で教鞭をとった実績があると伺っています。今後は、小学生だけでなく、教員間の定期的な交流も検討したいですね。



子ども親善大使派遣事業

福井市の小学6年生が7月に結城市を訪れ、結城市の児童とともに機織りや藍染めを体験することで交流を深めました。また、8月には同様に結城市から福井市を訪問し恐竜発掘などを体験しました。この事業は令和6年度で20回目を数えます。

歴史文化と観光連携

小林市長

本市は、ユネスコ無形文化遺産に登録された「結城紬」の製作技術のほか、平安・鎌倉時代にこの地を治めるようになった結城家の始祖・朝光公から福井に転封となった秀康公に至るまでの「結城家」を題材としたイベントなど、地域資源を活用した観光振興に取り組んでいます。

「結城秀康生誕450周年」となった令和6年度は、本市の結城蔵美館、福井市の福井市立郷土歴史博物館と福井県立歴史博物館の3館連携による特別展を開催することができました。私も福井市で開催された「越前百万石ものがたり～福井藩祖・結城秀康～」と「天下の子・結城秀康と一族・家臣」の2つの特別展を拝見し、素晴らしい所蔵品の数々を堪能させていただきました。

今後、定期的にこうしたイベントを開催するとともに、超広域観光イベントとして同時開催することで、国内だけでなくインバウンドにもつなげていければと考えています。



結城秀康生誕450周年記念として、結城蔵美館、福井市立郷土歴史博物館、福井県立歴史博物館の3館が連携して、秀康の特別展を開催。



西行市長

その節はありがとうございました。3～5月の福井市立郷土歴史博物館での特別展では「刀剣乱舞ONLINE」とコラボレーションを行い、18,000人以上に会場いただきました。これもひとえに結城市がこれまで企業と育んできた関係性の賜物であり、大いに感謝しています。

なお、現在、本市では「楽しい・安心・元気」という3つのキーワードをもとに地域活性化に取り組んでいます。「歴史・文化」だけでなく、「スポーツ」やあらゆる経済効果をもたらす分野と観光を結び付けると



©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS

ともに広報とプロモーションを一体化、さらには著名人とのタイアップを図るなど、情報発信を図っています。

また、本市最寄りの小松空港に直行便が乗り入れていることから、台湾でプロモーションを展開して誘客に取り組んでいるほか、欧米の方が多く閲覧しているという調査結果があった、「japan-guide.com」と協定を結び情報発信を行っています。

今後、両市の持つ地域資源に加え、それぞれが構築しているつながりなども活用し、相乗効果を図ってまいります。



「福」いっしょに!

—福井は「楽しい」「安心」「元気」—

福井県 福井市

福井市は、福井県嶺北地方の中心に位置する県庁所在地・中核市で、豊かな自然や美味しい食など、魅力に溢れた街です。

戦国大名朝倉氏の城下町の史跡が残る「一乗谷朝倉氏遺跡」や、旧福井藩主松平家の別邸「名勝 養浩館庭園」などが見どころです。また、日本さくら名所100選に選ばれた足羽川・足羽山の桜が咲き誇る3月下旬～4月上旬には「ふくい桜まつり」や「ふくい桜マラソン」が開催され、県内外から多くの方が訪れます。

令和6年3月の北陸新幹線の開業によって関東地方とのアクセスが向上し、福井の魅力への注目が益々高まっています。



名勝 養浩館庭園



足羽川桜並木

災害に備えた協力体制

小林市長

本市は、平坦な地形であることから自然災害が比較的少ない地域であると感じています。

しかしながら、昨今における地球温暖化に起因すると思われる集中豪雨などによる内水被害に対し、県内でも事例が少ない「排水ポンプ車」を昨年導入いたしました。

平成23年3月の東日本大震災では度重なる地震動の影響で水道管が破損し、断水が続きました。給水車も小規模であることから市民への給水作業が難航していた際に、福井市の大型給水車がいち早く応援に駆けつけてくれ、当時、給水を担当した職員から今でも感謝しているという話を伺っております。その節は本当にありがとうございました。

災害応援については、遠距離であるが故に可能となる連携があると思います。今後、行政同士だけでなく、本市が連携協定を締結している企業と福井市との連携についても友好都市として働きかけていければと考えています。

西行市長

平成16年福井豪雨災害の経験は、結城市をはじめとする様々な機関との関係構築の重要性を改めて認識した機会となっており、令和6年元日の能登半島地震の際にも被災地の痛みを知る者として、いち早く職員や給水車などの派遣支援を指示しました。恐らく、平成23年の東日本大震災時においても同じ考えのもと早期に派遣支援を行ったものと考えま



結城市では内水被害に備えるため、排水ポンプ車を配備しました。災害時には友好都市や防災協定都市などに派遣します。



ふくい桜マラソン
実行委員会 提供

ふくい桜マラソン

令和6年3月の北陸新幹線福井開業にあわせ、フルマラソン大会を初開催しました。

桜の名所や全国初となる新幹線と道路の併用橋「新九頭竜橋」を巡るコースを、国内外から15,000人のランナーが駆け抜けました。



福井市給水車

災害発生時の応急給水対策として、給水車を2台(4トン・3トン)配備しています。

これまで、結城市や陸前高田市(平成23年東日本大震災)をはじめ、熊本市(平成28年熊本地震)や輪島市(令和6年能登半島地震)などに給水隊を派遣し、応急給水による災害支援を実施しています。

す。地理的に離れていることを利点と捉え、遠距離ならではの相互応援が図れば良いと考えます。

結城市とは友好都市関係にありますが、「災害時における詳細な取り決め」なども行うことでより密接な関係が構築できるのではないかと考えています。

これからの福井市と結城市

小林市長

結城秀康公につないでいただいた両市の縁は、友好都市盟約につながり、締結から20余年が経過しましたが、以前から交流のある啓蒙地区の皆様をはじめとして、福井市を訪問する度に手厚いおもてなしをいた



令和4年10月、友好都市盟約締結20周年を記念して、市民訪問団が福井市を訪れました。左：福井城址、結城秀康公像の前にて 右：福井市啓蒙地区文化祭で囃子の演奏を披露

だき、啓蒙公民館からは毎年「越前水仙」をご寄贈いただくなど、変わらぬご厚誼を大変うれしく感じております。

今後は、本日の議題にも挙がりました「教育・観光・防災」の3つの柱を軸とし、取り急ぎ、西行市長よりご提案いただきました「災害時における詳細な取り決め」を進めてまいります。

また、市民訪問団などの市民間でもとより、関係自治体や企業などを含めた交流の輪を広げることがさらなる連携強化につながるものと考えております。引き続き、よろしくお願いたします。